

建設技術展

2024近畿 ええもん^{技術}使こて、ええモン創ろ!

9つの分野に約600技術が集結

🏠 防災

🌿 環境

⬇️ コスト縮減

💙 安全・安心

🔨 施工

🔄 維持・更新

💻 DX・ICT

👥 団体

🎓 学校



2024.

11/7 [木] 9:30-17:00

11/8 [金] 9:30-16:45

インテックス大阪

6号館 Cゾーン

開催報告

開催趣旨

「建設技術展2024近畿」は、民間企業が開発した新技術・新工法を展示・紹介する場において、産・学・官の交流を行うことで、これまで培われてきた建設技術のより一層の高度化や、より広範囲な技術開発の促進へとつなげ、新技術の各工事への積極的な活用を促すことを目的とするものです。

そのキーワードは

- ① 民間分野における建設事業に関連した技術開発への取り組みを紹介
- ② 新しく開発された技術の育成と普及
- ③ 技術開発に向けた建設技術者の意識の高揚
- ④ 発注者のニーズを広報し、新技術の開発・普及につなげる

技術展の開催を通じて、ハード・ソフト両面での社会基盤整備に関連した技術の役割や意義を発信していくとともに、発注者ならびに建設コンサルタント、ゼネコン、資材業者など幅広い方々へPRしていくことで、建設産業の一層の発展に寄与していきたいと考えています。

また、近年より各出展者から要望の多い新たな技術分野として「維持・更新」を設け、本格的なインフラの維持管理・大量更新を迎えた建設業界へ情報も発信しています。さらに、国土交通省が推進するi-Constructionを視野に、「DX・ICT」分野ではICT技術を、「施工」分野では「規格の標準化」に関する技術も紹介しています。



近畿地方整備局長
長谷川 朋弘氏

近畿建設協会
谷本 光司 理事長

土木学会 関西支部長
青木 伸一氏



来場者数

11/7 [木]
11/8 [金]
延べ**17,336**人

技術出展

技術分野	出展者数	ブース数
防災	32	33
環境	10	10
コスト削減	2	2
安全・安心	30	50
施工	40	44
維持・更新	49	56
DX・ICT	53	58
団体	8	11
学校	13	13
合計	237	277

開催イベント

関西ライフライン研究会 地震防災フォーラム

「上下一体となった水道・下水道の地震対策のあり方」

11/7 [木] 10:45-12:15



山上 訓広氏

山上 訓広氏(国土交通省 国土技術政策総合研究所 上下水道研究部 能登上下水道復興支援室 室長)の基調講演に続き、
鎌田 泰子氏(神戸大学大学院 工学研究科 教授)をコーディネーターに、
吉澤 源太郎氏(大阪市水道局 工務部配水課 課長代理)、
浮田 悦男氏(神戸市建設局 下水道部道路課 課長)によるパネル討論が行われました。



NPO法人あすの夢土木 シンポジウム

「建設現場のAI戦略へ～取り組み事例と今後の展開～」

11/7 [木] 15:30-17:00



阿部 雅人氏

建設現場での取り組み事例を、**㈱大林組**、**西松建設**、**㈱五洋建設**が発表した後に、**阿部 雅人氏**(土木学会 構造工学委員会 AI-データサイエンス実践研究小委員会 副委員長)が「土木業界におけるAI活用の取り組みと今後の課題」をテーマに基調講演を行いました。



学生向けインフラDX技術コンテスト 発表会・表彰式 [近畿建設協会]

11/7 [木] 13:15-13:50

インフラDX技術コンテストの一次審査の上位3名が作品を発表し、審査を経て最優秀賞と優秀賞を表彰しました。



橋梁模型製作コンテスト

11/7 [木] 10:30-12:30 会場製作部門 会場製作

11/8 [金] 10:00-12:00 会場製作部門・学生部門 載荷試験

建設コンサルタンツ協会 近畿支部 シンポジウム

「近畿支部提言 中間報告 大阪・関西万博から未来社会へ」

11/7 [木] 13:00-15:00

藤本貴也氏(JAPIC国土・未来プロジェクト研究会 委員長)の基調講演や、コーディネーターの大津宏康氏(京都大学 名誉教授)と近畿支部の道路研究会の各委員長が「みらいへつなぐ関西の道・まちづくり」に向けた方策について議論を交わしました。



藤本 貴也氏



関西のインフラ強化を進める会 シンポジウム

11/8 [金] 13:00-15:00

杉本達治氏(福井県知事)が特別講演、東川直正氏(公益社)2025年日本国際博覧会協会 副事務総長)が基調講演を行った後に、小林潔司氏(京大経営管理大学院 特任教授)をコーディネーターに迎え、長谷川朋弘氏(国土交通省 近畿地方整備局長)、岩城宏幸氏(国土交通省 近畿運輸局長)、尾花英次郎氏(大阪府・大阪市 大阪都市計画局長)、橋爪伸也氏(大阪公立大学 研究推進機構 教授)が「大阪・関西万博を契機とした西日本の成長戦略」をテーマにパネルディスカッションを行いました。



杉本 達治氏



東川 直正氏



近畿地方整備局 インフラDXコンペ 発表会

11/7 [木] 14:00-17:00

有用なインフラDX技術の発掘を目的に、公募で選出した19件の技術を発表。審査の結果2件の優秀技術が表彰されました。また、森下博之氏(国土交通省 大臣官房 参事官(イノベーション))が「i-Construction 2.0 ~建設現場の省力化を目指す3つのオートメーション化~」をテーマに特別講演を行いました。



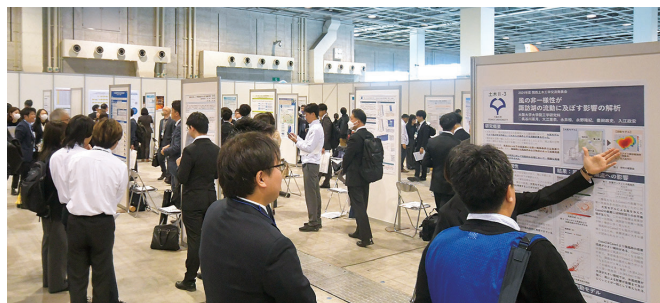
森下 博之氏



土木学会 関西支部・ 建設コンサルタンツ協会 近畿支部 関西土木工学交流発表会 ポスター発表

11/8 [金] 10:00-12:00

土木学会関西支部の会員と学生ら、建設コンサルタンツ協会近畿支部の会員が研究内容のポスターセッションを行い、産官学民の交流、世代間の交流を深めました。



学生のためのキャリア支援

～相談にのります、将来への道づくり～

11/8 [金] 13:30-15:30

土木業界を代表する産・官(官公庁、高速道路、総合建設業、建設コンサルタント、地質調査業、橋梁メーカー)から、実際に働いている方々に来ていただき、学生のみなさんの知りたいこと、聞きたいことに答えていただきました。



技術・事業紹介等パネル展示

11/7 [木] 9:30-17:00 11/8 [金] 9:30-16:45

11/8 [金] 同時開催イベント

場所:大阪アカデミア

土木学会 関西支部・近畿地方整備局

13:30-17:00 関西土木工学交流発表会 口頭発表

場所:インテックス大阪 6号館 5階 ホールH

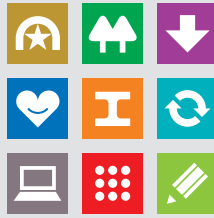
インフラメンテナンス国民会議 近畿本部フォーラム

国土政策研究会 関西支部

13:00-14:45 実証実験報告会

15:00-17:00 パネルディスカッション

技術展示



注目技術賞審査委員長
高橋 伸輔
[近畿地方整備局 企画部長]

「建設技術展2024近畿」では、「DX・ICT」、「維持・更新」など時代のニーズに応える9つの分野において、産学官をはじめとした237の出展者から277のブースで様々な技術が展示されました。2日間で来場者が1万7千人を超え、非常に活気がある素晴らしい技術展でした。

本技術展は、建設技術の展示だけでなく、最新の話題を提供するイベントも多数開催されました。“上下一体となった水道・下水道の地震対策のあり方”に関するフォーラム、“建設現場へのAI戦略～取り組み事例と今後の展開～”に関するシンポジウム、“大阪・関西万博を契機とした西日本の経済成長戦略”に関するシンポジウムなどが来場者に向けて発信され、建設業の新たな展望を感じる機会となりました。

今回の注目技術賞、審査委員特別賞は、建設現場に限らず汎用的に活用できそうな技術や、汎用性があるだけでなく特徴のある面白い技術について着目し、AUVによる堆砂予測や水質管理などに関する技術、植物が元気に育つ環境があれば電力を得られる技術、設計段階から竣工後の維持管理に至るまで一気通貫でデータを統合管理するシステムなどを選ばせていただきました。また、様々な展示がありましたが、来場者の投票により選ばれるベストブース賞は多くの来場者が足を止めるなど、工夫を凝らした展示となっております大変感心させられました。

日本は人口減少社会であり、今後も人手不足は解消しない時代に突入します。産学官が連携して建設技術展を盛り上げていくことで、展示いただいた技術の一つ一つが積み重なって、様々な課題を解決する建設現場のオートメーション化につながるものと考えています。また、新たな技術をどんどん実装化することにより、建設業が元気になることで、災害に対する地域の安全・安心が将来にわたって確保される社会が実現することを期待いたします。

注目技術賞



展示された技術の中から、「技術の先進性」、「効果」、「活用性」の観点から公共事業の事業主体者が審査選定した“注目すべき技術”に贈られます。

審査委員特別賞



審査員による投票で、注目技術賞に選ばれなかったものの、技術の独創性やアイデア、先進性など今後、期待される技術について、審査委員会が特別に推薦したものに贈られます。

ベストブース賞



一般来場者に最も関心の高かったブースに投票していただき、得票数が最も多かったブースに贈られます。



注目技術賞



安藤ハザマ

施工

ボタニカルライト (botanical light)

ボタニカルライト (botanical light) は、植物と微生物の力で発電する未来のエネルギーです。土中の微生物が放出する電子を利用して発電します。電源がなくても、植物が元気に育つ環境があれば電極が劣化するまで永続的に電力を得ることができます。



ボタニカルライトの使用状況



ボタニカルライトの発光状況

Tel 06-6454-2690 <https://www.ad-hzm.co.jp/>

審査委員特別賞



阿南電機 (株)

維持・更新

ウルトラワックステープ

高耐久性防水防食システム「ウルトラワックステープ」。電動工具不要の簡単施工で40年の長期防食が可能です。狭小部や凹凸の多い形状などケレンが十分にできない環境下でもハンドツールのみで施工可能で施工性に優れます。施工工程は3~4種程度のケレン後、プライマーを塗布しテープを圧着するだけなので施工が早く、工期の大幅短縮にも貢献します。塩害にも強く優れた耐久性がある一方でボルト1本からの少量施工にも対応しており、幅広い用途でご活用いただけます。



ウルトラワックステープ添接部 施工事例

Tel 06-6353-6640 <https://anandenki.jp/>

審査委員特別賞

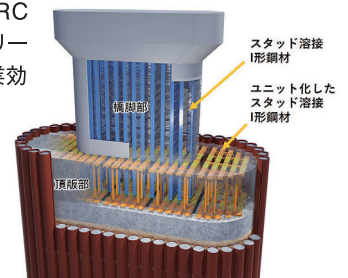


五洋建設 (株)

施工

シーコム工法

シーコム工法 (SeaComb工法) は、複合構造を用いた臨港道路橋脚の構築工法です。ウェブにスタッドを溶接したI形鋼材を芯材とし、橋脚部では主鉄筋の代替材料、頂版部ではI形鋼材をユニット化して構築します。従来工法 (RC橋脚およびRC頂版) では、過密鉄筋によるコンクリートの充填性の低下や鉄筋組立の作業効率の低下が課題としてあり、安全面での懸念もありましたが、本工法はI形鋼材の使用による主鉄筋の本数削減と鋼材のユニット化により、工程短縮および省力化を図り、効率的に施工を行うことが可能です。



シーコム工法 概要図

Tel 06-6486-2107 <https://www.penta-ocean.co.jp/>

注目技術賞

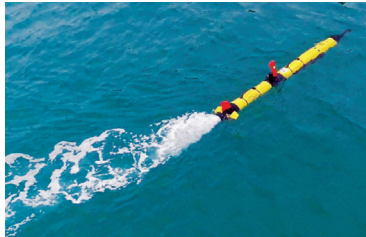


(株)エイト日本技術開発

DX・ICT

自律型無人潜水機 (AUV)

自律型無人潜水機(AUV)は、コンピューターと各種センサーを搭載した水中ロボットです。予め設定したコース・深度をAUVに自律航行させ、搭載したインターフェロメトリ音響測深機により3次元点群データ、サイドスキャンソナーにより水中音響画像、多項目水質センサーにより3次元水質データを取得することが可能です。EJECではこれらのデータを活用して、港湾施設の維持管理やダム貯水池の堆砂予測、水質管理など水環境におけるソリューションサービスを提供します。



自律型無人潜水機 (AUV)

Tel 03-5341-5156 / 06-6397-0753 <https://www.ejec.ej-hds.co.jp/>

審査委員特別賞



(株)ケー・エフ・シー

維持・更新

ZIKMO

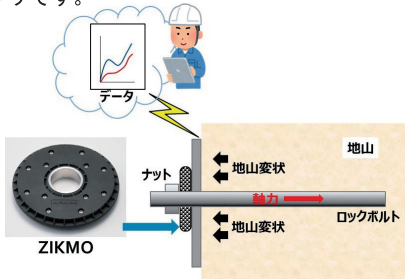
薄型ワイヤレス軸力モニタリングシステム「ZIKMO(ジクモ)」。

部材に作用する軸力をタブレットで簡単に確認できます。

◎ロックボルトやコンクリート用アンカー締結部など様々な対象への適用が期待できる軸力センサです。

◎ワイヤレスでデータの収集が可能となり、タブレットで計測結果を確認することができます。

◎「軽量」、「コンパクト」で扱いやすく、また電池内蔵型であることから別途電源が必要ありません。



Tel 03-6402-8251 <https://www.kfc-net.co.jp/>

審査委員特別賞



(株)ハイドロ総合技術研究所

DX・ICT

Hydro-STIV

Hydro-STIVは、映像と水位情報を用いて流速・流量を計測するシステムです。神戸大学藤田一郎名誉教授による最新のSTIV技術と当社のAI技術を融合し、高精度な計測を実現しました。洪水などの危険時に河川に近づくことなく安全で簡単に精度よく流速・流量測定を行うことが可能です。

計画高水位を超えるような大規模な洪水時でも安全に流量観測が実施できる、革新的かつ非常に有用な技術として、土木学会賞の一つである技術開発賞(令和5年度)を受賞しています。



Tel 06-6479-3811 <https://www.hydrasoken.co.jp/>

注目技術賞



(株)大林組

施工

OBRIS®

橋梁リニューアル統合管理システム「OBRIS」。設計段階で作成した3次元モデルをプレキャスト部材の製作、現場での施工、竣工後の維持管理まで一気通貫で利用できる管理システムです。この画期的なデジタルツインにより、各作業過程間の連携ミスや人為的ミスが排除され、業務の大幅な省力化・効率化が図れます。

《特長》◎3D測量データを自動でCIM化 ◎PCa部材を3D計測で出来形管理 ◎3次元上で事前に架設シミュレーション ◎設置済みPCa部材の誤差をシミュレーションに反映



OBRIS

<https://www.obayashi.co.jp/>

審査委員特別賞



(株)大林組

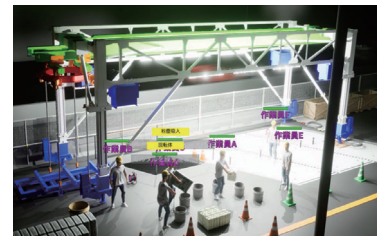
施工

GEN-VIR®

3DCGにより、現場作業を見える化する施工シミュレーター「GEN-VIR」。現場作業員の疲労負担軽減や生産性向上を目的とした、3DCGを用いた作業シミュレーション技術です。バーチャル空間上に施工現場や作業動作を再現することで、施工前に詳細な作業改善検討ができ、工程や作業員行動の最適化が可能です。

《特長》◎工期最短や人員最少等の工程計画が可能 ◎リスクの見える化により、事前の周知徹底や安全対策につなげることが可能

※「GEN-VIR」はトヨタ自動車株式会社の登録商標です。



GEN-VIR

<https://www.obayashi.co.jp/>

ベストブース賞



(株)大林組 / 大林道路(株)

施工

今年も多くの方々に当社グループのブースにお越しいただき、ありがとうございます。5年連続での『ベストブース賞』に加え『殿堂入り』の栄誉にあずかり、大変光栄に思います。本展示会では、グループのブランドビジョンである「MAKE BEYONDつくるを拓く」に基づき、最先端の技術に加え、今回初めて「宇宙開発」の取組についてもプレゼンテーションにて紹介いたしました。このようなチャレンジングな姿勢がお客様に評価され、受賞につながったと考えます。今後も多くの方々に興味を持っていただけるように努めて参ります。是非またお越しください。



<https://www.obayashi.co.jp/> <https://www.obayashi-road.co.jp/>

橋梁模型製作コンテスト

11/7 [木]・11/8 [金] 土木・建設技術に興味を持っていただくため、わかりやすい身近なものとして橋梁模型を製作していただきました。



橋梁模型製作コンテスト
審査委員長
飯塚 敦
[神戸大学 名誉教授]

今年も橋梁模型コンテストは盛会であった。予め製作した橋梁模型を持ち寄る学生部門、39チームの出展があった。たった2時間の間に、与えられた材料で橋梁模型を製作する会場製作部門、練習を重ねなければ、とても間に合わない。21チームの参加があった。

両部門とも、過酷な载荷試験が待っている。バキバキと音をたてて崩れ落ちる模型が現れる。コンテストに勝つためには軽量化が重要であるが、一方で力学的な合理性を欠いては入賞にはおぼつかない。精魂込めた橋梁模型が载荷の試練に晒される姿は、傍らの製作者の不安げな表情とあわせて、技術展を盛り上げている。

学生部門の最優秀賞は高知工業高校定時制のチームで

あった。すでに入賞の常連である。洗練されたデザイン、合理性を具備した機能美が光る。それに京都工学院高校、上越総合技術高校のチームが優秀賞に、富山大学、高松農業高校、科学技術高校のチームが審査委員特別賞に輝いた。

会場製作部門は、社会人のチームが競う中、またしても高知工業高校定時制のチームが最優秀賞を獲得した。お見事でした。本四連絡高速道路(株)の2つのチームが優秀賞に輝いた。審査委員特別賞には、国交省大阪国道事務所とNEXCO西日本のチームが選ばれた。それぞれ個性豊かな作品であったが、部材結合部の接着と端点の処理がしっかりとなされていなければ、力学的合理性は発揮されない。工作の練度も入賞へのカギを握っている。

最優秀賞



製作課題を満たした橋梁模型の中から、学識者および橋梁の専門家で構成された審査委員会で「デザイン性」「技術度」「完成度」「経済性」等の観点から審査選定した「優秀な橋梁模型」に贈られます。また、その中から「最も優秀な橋梁模型」に最優秀賞が贈られます。

優秀賞



審査委員特別賞

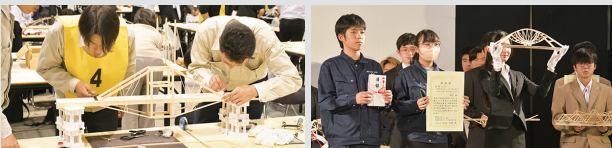


「最優秀賞」「優秀賞」の選考からは外れたものの審査委員会で特別推薦のあった優れた橋梁模型に贈られます。

人気作品賞



事前に製作し、会場内に展示された完成品の中で、来場者に最も人気があった(人気投票で最も投票数が多かった)橋梁模型に贈られます。



優秀賞



本州四国連絡高速道路(株) HSBTEcUNIT

HONSHITSU



張弦梁構造を採用し、シンプルな構造かつ、美しい橋梁を目指して細部の仕上げも念入りに行いました。風系への張力導入が最大の課題でしたが、検討と製作を繰り返し、本番では過去最高の橋梁が出来上がりました。メンバー全員初出場ながら、チーム一丸で製作した模型が評価され、大変光栄に思います。

審査委員特別賞



国土交通省 近畿地方整備局 大阪国道事務所 大國

Bring Peace



大阪国道事務所は、昨年に引き続き2回目の出場となりました。期待が高まる一方で、今年は1チーム3人での参加となり、心配や不安を感じました。このような状況の中、周囲の方々の熱心なご指導もあり、理想とする橋梁模型を製作することができました。厳正なる審査、誠にありがとうございました。

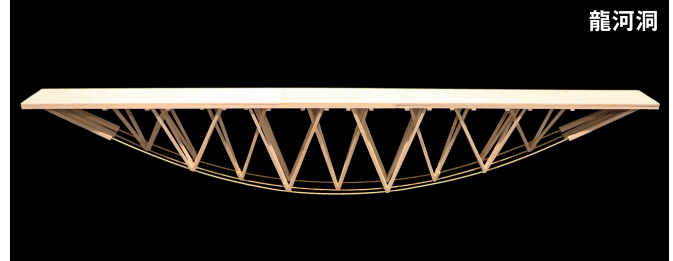
会場製作部門

最優秀賞



高知県立高知工業高等学校 定時制 チームぼっち

龍河洞



今年から橋梁のサイズが変わったため設計を一からやり直し、昨年とは全く違う構造にチャレンジしました。製作手順も一から見直し、試行錯誤の繰り返しとなりました。本番の製作では大きなミスも出ましたが、しっかり準備をしていたため乗り切ることができました。新しいことに挑戦したことが良かったと思います。

優秀賞



本州四国連絡高速道路(株) JB Revengers

メロディ of クレセント



栄えある優秀賞をいただき大変光栄に思っております。今回はシンプル構造で組み立て易く強靭さを備えた模型を目指しました。製作精度を向上させるため床版、三角フレーム、引張材を別々に作成し、最後に合体させ優雅な曲線を持つ模型としました。受賞はチーム一同、今後の励みとなり感謝に堪えません。

審査委員特別賞



西日本高速道路(株)関西支社 チーム若若(ニャクニャク)

ネクスコ ニャクニャク ブリッジ (NNB)



「若い世代が次の時代を若若(にゃくにゃく:造語)と切り開く」をコンセプトに若手社員で意見を出し合い、主塔を斜めに設置したり、固定端機構を採用したりとユニークな構造を採用しました。日常業務がある中でも7回の試作を行い、当日に臨みました。私たちのこだわりが評価され、とても光栄です。

参加全60チーム アルファベット・50音順

会場製作部門	
(株)近畿地域づくりセンター	4One
高知県立高知工業高等学校 定時制	チームぼっち
国土交通省 近畿地方整備局 大阪国道事務所	大国
国土交通省 近畿地方整備局 紀南河川国道事務所	紀南チームA/紀南チームB
国土交通省 近畿地方整備局 滋賀国道事務所	チームしがこく
国土交通省 近畿地方整備局 浪速国道事務所	チーム浪速
国土交通省 近畿地方整備局 姫路河川国道事務所	HKK 姫/姫国橋梁模型倶楽部
国土交通省 近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所	醤油チーム/チーム熱血ハハネロ
(株)駒井ハルテック	KH+1/KH+2
中央復建コンサルタンツ(株)	Team-CFK
西日本高速道路(株)関西支社	チーム若若(ニャクニャク)/はし2024
阪神高速技術(株)	みちもりファミリー/Top of the hill
本州四国連絡高速道路(株)	HSBE TecUN1T/JB Revengers
宮地エンジニアリング(株)	Team 宮地

学生部門	
大阪工業大学	OIT TEAM F
大阪府立西野田工科高等学校	チームだるまーず/チーム友達
大阪府立布施工科高等学校	布施工A
大阪府立都島工業高等学校	THM/ウィーアー/ナニワーズ
岡山県立高松農業高等学校	高農土木A/高農土木B
岐阜県立岐阜工業高等学校	TATU/葡萄前進
京都市立京都工学院高等学校	Team KKOF/tetra/お茶こぼし/ 工学院探検隊A/愉快な仲間たち
京都府立農芸高等学校	農芸A/農芸B
高知県立高知工業高等学校 全日制	高知工業 橋梁模型班
高知県立高知工業高等学校 定時制	MRK
神戸市立科学技術高等学校	Firebird/神戸科技 木工研究会A/ 神戸科技 木工研究会B/都市工学科研究会王将
修成建設専門学校	okaZeee/Solo-Solo-Solen/ぼっち/勇愛
富山大学	TOYAMA
新潟県立上越総合技術高等学校	JADE/TWO THE TOP/百花繚蓮
兵庫県立東播工業高等学校	チーム東播A/チーム東播B
兵庫県立兵庫工業高等学校	ウルトラー's
山口県立萩商工高等学校	萩維新ズa^o^)/萩維新ズb^o^)/
和歌山県立和歌山工業高等学校	RAGNAROK/優聖

学生部門

最優秀賞 人気作品賞



高知県立高知工業高等学校 定時制 MRK

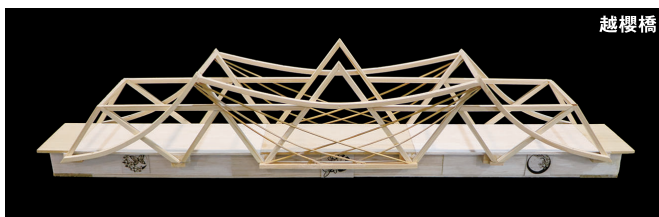


最優秀の評価をいただきありがとうございます。メインは5×5のヒノキ2本のアーチ構造。そのアーチを兜の鍔形をデザインした部材で変異を押さえています。アーチから床盤を支えるケーブルも兜のデザインを表現するとともにバランス良く配置することで、集中荷重を分散させアーチに働かせています。

優秀賞



新潟県立上越総合技術高等学校 TWO THE TOP



床版は箱桁を採用し上部構造はトラスとアーチを組み合わせ、強度とデザイン性を両立させました。上部構造は接合面を増やし剛性を上げ荷重を分散させました。箱桁はバルサ材で軽量化を兜りレーザープリンターでデザイン性も高めました。優秀賞を獲得でき、高校生活最後に仲間といい結果を残せて満足です。

審査委員特別賞



神戸市立科学技術高等学校 神戸科技 木工研究会A

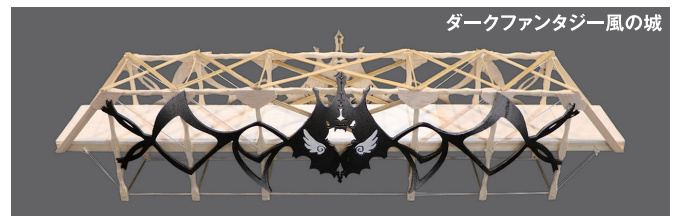


今回は初めての橋梁模型の製作で経験ゼロからのスタートでした。先生の指導を受けながら1年生3人で製作しました。試作の橋梁は20kgぐらいの重さで壊れてしまい、その反省を踏まえてトラスの部材を追加しました。載荷試験に耐え、審査員特別賞を受賞できてとても嬉しいです。

優秀賞



京都市立京都工学院高等学校 お茶こぼし

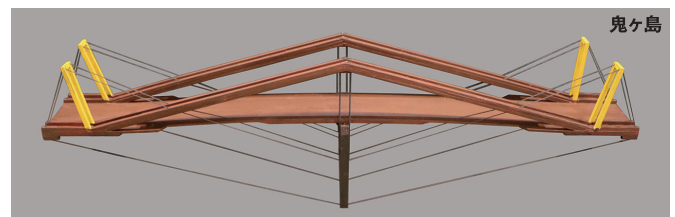


主にデザイン性を重視するために、部材を削ることや引張部材に糸を用いることでコスト(重量)を抑えました。また、この業界にはあまりない「ダークファンタジー」という要素を取り入れた作品にしました。初めての大会でドキドキしましたが、「優秀賞」を受賞させていただけたこと、感謝いたします。

審査委員特別賞



岡山県立高松農業高等学校 高農土木A

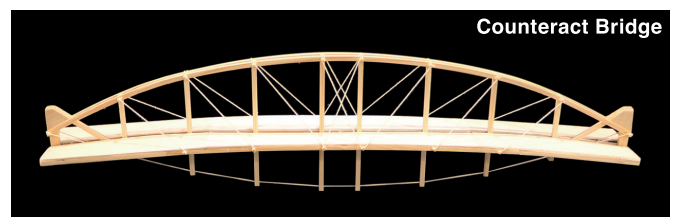


昨年試みた自形式吊形式橋梁の失敗を踏まえ、弱点部分をトラス構造で補うハイブリッド形式で製作しました。学校のある備中高松の桃太郎伝説発祥の地にちなんで橋梁名を鬼ヶ島とし、それを連想させる色合いに仕上げ、もし実在すればきっと地元のシンボルになっているであろう姿を想像し製作しました。

審査委員特別賞



富山大学 TOYAMA



活荷重による正曲げモーメントに対してケーブルが引張り力に抵抗するサスペンアーチ構造を採用しました。解析を用いて部材を最適化し、軽量化を意識しながら試行錯誤しました。目標であった最優秀賞には届きませんでしたが、賞を頂くことができ大変光栄です。経験を糧に今後の学びに生かしたいです。

出展者

ア行

- ㈱IHIインフラ建設
- アイサンテクノロジー㈱
- 青木あすなろ建設㈱
- 旭イノベックス㈱
- アジア航測㈱
- 麻生フオームクリート㈱
- 阿南電機㈱
- アンダーパス技術協会
- 安藤ハザマ
- (一)イーゼースラブ橋協会
- いであ㈱
- ㈱因幡電機製作所
- ㈱イビコン
- 岩田地崎建設㈱
- 宇部工業㈱
- 宇宙マテリアルズ㈱
- ㈱エイト日本技術開発
- AT工法研究会
- ㈱エスイー
- ㈱エスエスティ協会
- (一)SCFR工法協会
- STKネット工法研究会
- エヌ・ティ・ティ・インフラネット㈱
- ㈱NTEC
- NV5 Geospatial ㈱
- FKK 極東鋼鉄コンクリート振興㈱
- 大型車通行適正化に向けた近畿地域連絡協議会
- ㈱大阪防大建設社
- ㈱大林組
- 大林道路㈱
- ㈱オクノコト
- ㈱奥村組
- 奥村組土木興業㈱
- 小野田ケミコ㈱
- ㈱オプティム
- ㈱オリエンタルコンサルタンツ／
- ㈱エイテック／
- ㈱アサノ大成基礎エンジニアリング

カ行

- ㈱ガイアート
- 鹿島建設㈱
- 鹿島道路㈱
- ㈱加藤建設
- ㈱カナデビアエンジニアリング
- 河合町／畿央大学／(株)森本組
- 川田建設㈱
- ㈱かんこう
- ㈱関電工
- KEYTEC ㈱
- (一)橋梁延命化シナリオ研究会
- ㈱きんそく
- ㈱クボタ建設
- ㈱熊谷組
- ㈱GRIFFY
- ㈱栗本鐵工所

- KJS協会／アンカー補修協会／NMアンカー協会
- KTB協会／PCフレーム協会
- (株)ケー・エフ・シー
- K-PRO工法協会
- ケミカルクラウト㈱
- (株)建設技術研究所
- (一)建設業技術者センター
- (一)建設コンサルタンツ協会 近畿支部
- (一)建設物価調査会
- (株)構造計画研究所
- (株)鴻池組
- (株)高洋商会
- 国際航業
- 国土環境緑化協会連合会
- 国土交通省 近畿地方整備局 近畿技術事務所
- 国土交通省 近畿地方整備局 神戸港湾空港技術調査事務所
- 国土防災技術㈱／
- サンスイ・ナビコ㈱
- ㈱小島組
- ゴトウコンクリート㈱
- コニシ㈱
- KOBELCOグループ
- 五洋建設㈱
- コンクリートコーリング㈱

サ行

- (株)栄組
- 佐藤工業㈱
- 三信建設工業㈱
- (株)サンレック
- GIコラム研究会
- シーキューブ㈱
- JFEグループ
- (株)ジェイファスト／(株)エフエムシー
- 協同組合Masters ジオテック工法研究会
- (株)シクソ
- JIPテクノサイエンス㈱
- 地盤凍結工法協会／(株)精研
- 清水建設㈱／日本道路㈱
- 首都高技術㈱
- (一)循環式ハイブリッドプラスチックシステム工法協会
- 昭和機械商事㈱
- 昭和コンクリート工業㈱
- 鈴木産業㈱
- スバル興業㈱／
- ㈱レンタルのニッケン
- 住友大阪セメント㈱グループ
- リアドドライショット工法協会
- スワエール協会
- 世紀東急工業㈱
- 西武建設㈱
- (一)セイフティーフラット工法協会
- セフテック㈱
- (株)仙台銘板

- (一)先端建設技術センター
- ソイルアンドロックエンジニアリング㈱
- (株)創発システム研究所
- (株)ソーキ

タ行

- (株)ダイカ
- 太啓建設㈱
- 大成建設㈱／大成ロテック㈱
- 大日コンサルタンツ㈱
- 大日本ダイヤコンサルタンツ㈱
- 大日本土木㈱
- 太平洋セメントグループ
- 大豊建設㈱
- ダイヤテックス㈱
- 大洋基礎工業㈱
- 太陽建機レンタル㈱ デジタル企画部
- 瀧富工業㈱
- (株)竹中土木
- W²R工法協会 近畿支部
- 中央開発㈱
- (株)小島組
- 中大実業㈱
- (株)DTS-インサイト
- DataLabs ㈱
- 鉄建建設㈱
- 鉄鋼スラグ協会
- デンカ㈱
- 東亜グラウト工業㈱
- 東亜建設工業㈱
- 東亜道路工業㈱
- 東急建設㈱
- 東興ジオテック㈱
- 東洋建設㈱
- (株)東洋スタビ
- 戸田建設㈱
- 飛鳥建設㈱
- (一)D-ローン測量教育研究機構(DSERO)

ナ行

- 中日本ハイウェイエンジニアリング 東京 ㈱
- 中日本ハイウェイエンジニアリング 名古屋 ㈱
- (株)ナレッジ
- 新潟県 (Made in 新潟 新技術普及・活用制度)
- 西尾レントオール㈱
- 西日本高速道路㈱関西支社
- 西日本高速道路エンジニアリング関西㈱
- 西日本高速道路エンジニアリング九州㈱
- 西日本高速道路エンジニアリング四国㈱
- 西日本高速道路エンジニアリング中国㈱
- 西日本高速道路総合サービス沖繩㈱
- 西日本高速道路ファシリティーズ㈱
- 西日本高速道路メンテナンス関西㈱
- 西日本高速道路メンテナンス中国㈱

- 西松建設㈱
- ニチバン㈱
- (株)日恵製作所
- 日進機工㈱ 大阪支店
- 日特建設㈱
- 日本キャタピラー(株)
- 日本ジッコウ㈱／
- JERコンクリート補修協会
- 日本車輛製造㈱
- 日本製鉄グループ
- (株)日本インシーク
- 日本SPR工法協会 関西支部
- 日本基礎技術㈱
- (一)日本橋梁建設協会
- 日本躯体処理㈱
- (一)日本建設機械施工協会 関西支部
- (一)日本建設情報総合センター
- (一)日本建設保全協会
- 日本工営 ㈱ 大阪支店
- 日本国土開発㈱
- (株)ニューゼック
- NEXCO西日本イノベーションズ(株)

ハ行

- ハイジュールネット工法研究会
- (株)ハイドロ総合技術研究所
- (株)HACARUS
- パシフィックコンサルタンツ㈱
- (株)パスコ
- 早川ゴム㈱
- バルテム技術協会 関西支部
- PAN WALL工法協会
- 阪神高速グループ
- ピーエス・コンストラクション(株)
- 日立建機日本㈱
- (株)日立システムズ
- エンジニアリングサービス
- 日之出水道機器 ㈱ 近畿支店
- ヒロセ技研㈱／新館建設㈱／旭洋設備工業㈱
- ヒロセホールディングス(株)／ヒロセ(株)／成幸利根(株)／産業リーシング(株)
- (株)フォーラムエイト
- 福井コンピュータ㈱
- 福田道路㈱
- (株)藤井組
- (株)富士技建
- (株)フジタ
- (株)復建技術コンサルタント
- 復建調査設計(株)
- (株)不動テトラ
- フリーフレーム協会 近畿支部／同 部(株)
- プレストネット工法協会／(株)相建エンジニアリング
- (一)プレストレスト・コンクリート建設業協会 関西支部
- 北陽建設(株)

- (株)保全工学研究所
- 本州四国連絡高速道路㈱／
- 本四高速道路ブリッジエンジニア(株)

マ行／ヤ行／ラ行／ワ行

- 前田建設工業(株)
- 前田道路(株)
- (株)丸治コンクリート工業所／
- ランデス(株)
- マルチドリル工法協会
- 三重塗料(株)／
- クリスタルジュエリー工法協会
- ミズノ(株)
- 三井住友建設(株)
- 宮地エンジニアリング(株)
- (一)無溶接工法安全協会
- 村本建設(株)
- 名三工業(株)
- (株)MetaMoji
- (株)森本組
- (株)横河NSエンジニアリング
- (株)横河ブリッジ／
- 日軽エンジニアリング(株)
- ライト工業(株)
- リパークル(株)
- (株)レックス
- レフィクシア(株)
- (株)ワイビーエム
- 若築建設(株)
- 和歌山県／(株)ケイエフ／(株)クスベ産業
- ／(株)対新技術研究会／(株)フリー工業(株)／
- アートコンクリート工業(株)
- (株)和建

学校

- 京都市立京都工芸大学院高等学校
- プロジェクト工学科 まちづくり分野
- 都市デザイン領域
- 神戸市立工業高等専門学校
- 都市工学科
- 国立高等専門学校機構
- 明石工業高等専門学校
- 都市システム工学科
- 国立舞鶴工業高等専門学校
- 建設システム工学科
- 大阪工業大学
- 工学部 都市デザイン工学科
- 関西大学
- 環境都市工学部 都市システム工学科
- 関西大学 先端科学技術推進機構
- 京都大学 大学院 工学研究科
- 社会基盤工学専攻 地盤力学講座
- 京都大学経営管理大学院
- インフラ物性研究機構
- 神戸大学 自然科学系先端融合研究環
- 都市安全研究センター
- 神戸大学大学院
- 工学研究科 市民工学専攻
- 摂南大学 理工学部 都市環境工学科
- NPO関西インフラ維持管理
- 一大学コンソーシアム

主催: 日刊建設工業新聞社 (一)近畿建設協会 特別共催: (公)土木学会 関西支部

共催: 西日本高速道路(株) 阪神高速道路(株) 本州四国連絡高速道路(株) 関西エアポート(株) 関西電力(株) 大阪ガスネットワーク(株) 阪神国際港湾(株) 水資源機構 関西・吉野川支社 (株)都市再生機構 (公)地盤工学会 関西支部 (一)日本建設業連合会 関西支部 (一)建設コンサルタンツ協会 近畿支部 (一)日本建設機械施工協会 関西支部 (公)日本測量協会 関西支部 (一)日本道路建設業協会 関西支部 (一)日本理立浸透協会 近畿支部 (一)日本橋梁建設協会 (一)プレストレスト・コンクリート建設業協会 関西支部 (一)公共建築協会 (一)日本建設情報総合センター (一)先端建設技術センター (一)橋梁調査会 (一)河川情報センター (公)琵琶湖・淀川水質保全機構 (公)河川財団 (一)公園財団 (一)国土政策研究会 関西支部 (一)関西地質調査業協会

後援: 国土交通省近畿地方整備局 福井県 滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県 京都市 大阪市 神戸市 堺市 (公)関西経済連合会 大阪商工会議所

建設技術展近畿 事務局

〒540-6591 大阪市中央区大手前1-7-31 OMMビルB1F (一)近畿建設協会 事業管理部内

Tel 06-6941-5988 Fax 06-6942-3933 E-mail: kengi@kyokai-kinki.or.jp https://www.kengi-kinki.jp/kengi2024/top.html

Construction Technology EXPO 2024 Kinki